

インターネットでの個人情報の流出

1. 提案のきっかけ

個人情報の流出を提案したのは、テレビやネットニュースなどで個人情報の漏洩などが問題で迷惑メールが来たりストーカーに遭ったりしているニュースを見たりするので、低学年や下の学年にインターネットの安全な使い方を伝えたくて提案しました。

(1)わたしたちの体験と、調べて分かったこと

皆さんはスマートフォンやパソコンを使っている、またはもっていますか。小学生の1000人のうち、990人がインターネットを使用しているそうです。これだけインターネットを使用しているということは、それだけインターネットの被害に合うということです。みなさんは個人情報というものを知っていますか、個人情報は自分の情報や家の住所、電話番号などです。そんな個人情報が誰かに知られたらストーカーに遭ったり、空き巣や迷惑メールなどが来たり被害を受けます。

(2)解決したい課題

個人情報が流出すると悪意ある人に悪用されたりストーカー行為をされる。

2. 提案デジタル機器を活用しながら自分の身を守れるようにしよう。

便利で使いやすいデジタル機器ですが一度載せた文章や写真が完全に消えることがないからこそ自分の身に聞きが訪れるおそれがあります。具体的には、次の二つを提案します。

具体的な提案内容

(1)ネットで知り合った人で信用できる人でも交際はどんな人なのかわからない、だからネットで知り合った人とは会いに行ったりしない(2)自分が危ない目に合わないよう自分の顔や背景が写っている写真を上げるときは顔にモザイクを掛ける

このように、デジタル機器の使い方に少しの工夫をしたり注意したりすると自分の身や自分の身の周りの人がデジタル機器を安全に使うことができます。

3. まとめ

最初に言ったように、ほとんどの小学生がインターネットを使用しています。安全にインターネットを使用することが大切だと思います。もしかしたら危な

いかもしれないということを、一度親や先生に相談してみたり、自分の身を守れるようなデジタル機器の使い方を心がけてください。